



地域と企業・NPO・専門学校・福祉施設等との連携による多様な取組みをまわづくりセンターが紹介するシリーズ。
第2回目は、北中島地域です。

① 大阪保健福祉専門学校

北中島地域では、大阪保健福祉専門学校の生徒がボランティアとして地域活動に参加しています。

地域活動協議会設立を機に始まった「北中島まつり」には、毎年多くの生徒が会場設営から当日の運営、出店協力、後片づけまで積極的に参加し、地域と一緒に北中島まつりを盛り上げています。

また「北中島宿題ひろば」では、小学生の学習支援をしています。子どもと年が近い学生ならではの視点で向き合えるため、子ども達に寄り添い、よきお兄さん・お姉さんとしても慕われています。

生徒からは「普段体験できない事ができ、楽しくやりがいがある」との声も。



地域や学生達にとって、なくてはならないつながりへと発展しつつあります。



② 野菜が広げる地域のつながり

「北中島宿題ひろば」に野菜を届けているのは、青果仲卸業を営む株式会社丸促。代表取締役の小泉さんがファミールハイツ北大阪1号棟の町会長をしており、野菜の提供を申し出られました。

毎月宿題ひろばの前日に、丸促の社員が中央卸売市場で仕入れたばかりの新鮮な野菜を届けてくれます。それらを使って作られたカレーや豚汁は、宿題を終えた子ども達のお腹と心をやさしく満たしています。

この春から小泉さんの町会で、野菜栽培もはじまりました。「子ども達に野菜などがどのように出来るか知ってもらいたい」という想いでマンションの一角を耕し作られた農園。今ではいろんな方が畑の様子を気かけ、住民同士で畑の話をする機会も増えたのだとか。野菜を通じて、地域のつながりが育っています。

淀川区まわづくりセンター Facebook 淀川区まちセン FB 検索 地域情報発信中!!

やまちゃんの“ごころ”

やまもと まさひろ
淀川区長 山本 正広



新春に寄せて～初心、忘れるべからず～

新年明けましておめでとうございます。
去年の4月に淀川区長としてお世話になることになって以来、新たな年を区民の皆さんとともに迎えることができました。
先日来、地域団体の皆さんと地域活動に関わるようになったきっかけをお聞きすることが多かったのですが、「PTA役員になったので」とか「たまたまこども会活動に誘われて」、「地域で自分のこどもがお世話になったので恩返しのつもりで」等々きっかけはいろいろ。でも、そうした活動の中でやりがいを感じて今日まで続けてきた、という点は共通されていました。
私もよどマガ! 4月号で「区民の皆さんと最前線で向き合える区政に携わりたくて区長公募に挑戦した」と書いた初

心に立ちかえり、決意も新たに区政に取り組みます。
みんなの笑顔をつなげるまち、すべての区民がニコニコと笑顔で幸せに暮らしていただける淀川区となるように、地域の皆さんと力を合わせて頑張ってまいりますので、これからも引き続きご支援、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

▶ 蒲田神社の境内に飾られている絵馬。今年は戌年、昭和33年生まれの私は年男です!

